

竜胆

りんどう

2021年(令和3年)7月26日 発行

昭和薬科大学附属高等学校・中学校 PTA 発行人 知念 武史
〒901-2112 浦添市沢岨450 ☎098-870-1852

印刷: iRYUKYU (写真: 広報部・学校・保護者)

PTA会報
第166号

入学おめでとう! シン・薬科生



りんどう

「竜胆」の名前の由来

昭和5年に開校された昭和薬科大学の徽章は「竜胆」で、大学の校歌も「りんどうの花ほの匂ふ 大武蔵野の目黒ヶ丘に」という歌詞で始まります。

秋の山野で鐘型で紫色のきれいな花を咲かす竜胆は、沖縄には自生していませんが、伝統ある昭和薬科大学が沖縄の人材育成への熱い思いをこめて設立した本校の徽章に採用され、校旗にもデザインされています。PTA会報「竜胆」の名前もそれに由来しています。

祝 第36回入学式

第36回 中学 入学式

めんそーれ「新しい 知のステージ」へ

令和3年(2021年)4月7日(水)入学式が挙行されました。新型コロナウイルスの影響で規模を縮小したうえでの実施となりましたが、吹奏楽部の演奏で始まり、晴れやかな式典となりました。



本日、ここに多数の保護者の皆様をお迎えし、昭和三十九年(一九七四年)の入学式を挙行するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。新入生の皆さん、見守り、難関を突破されたこと、入学おめでとう。また、ご臨席の保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。皆様のお喜びもひとしおかと、心よりお祝い申し上げます。本日の入学式は我々、本校関係者にとりましても皆様と同様にこの上ない喜びでございます。この記念すべき出会いを機に、本校の歴史について簡単に紹介したいと思います。

本校の設立母体は校名にある通り、東京都町田市にある学校法人昭和三十九年(一九七四年)の系教育に主眼をおいた。戦禍を被った沖縄県の復興に際し、県民の方々の大きな希望をかなえるべく、「教育を通じて人材を育成する」との建学の精神のもと、昭和四十九年(一九七四年)の系教育に主眼をおいた。史と伝統に誇りを抱き、中学校とその後続く高校生活に夢と希望をもって臨んでほしいと期待します。

自分が高めることができず、本日から新しい友達、先生方・先輩たち、学校という全ての出会いが始まります。本校において夢と希望のあふれる新しい出会いを期待しておられます。結びになります。コロナ禍の中で保護者一人のみの参加となつてしまっているおられます。ご多忙の中、ご臨席いただき、新生を激励ください。深く感謝を申し上げます。と、ともに、新入生の皆さんを祈念申し上げます。



PTA会報「広報部より」感染拡大防止のため元木理事長は来沖されず、教頭が代読しているため顔写真は過去のものを使用しています。

ズーは全世界の子どもたちをはじめ、老若男女、すべての人々を魅了してやまない多くの作品を次から次へと生み出しているのです。私は、出会いという言葉が好きです。出会いとは何人も人間だけとは限りません。一匹のネズミでもいいのです。一冊の本でもかまわない。出会いには、夢と希望が宿っています。本日は皆さんと私たち学校との出会いの日です。これから中・高六ヶ年という学校生活の全てが始まるのです。

本日、入学式に御列席の保護者の皆様、お子様に入学に心からお祝いを申し上げます。私たちは、お子様をお預かりした以上、教職員すべてが心をこめて、生徒一人一人を大切に、保護者の付託にこたえる教育に専念する所存であります。保護者の皆様におかれましては、本校教育の目指す高い目標や学校経営方針、生徒指導等について御理解、御協力ください。よう、よろしくお願ひ申し上げます。



PTA会報「広報部より」感染拡大防止のため元木理事長は来沖されず、教頭が代読しているため顔写真は過去のものを使用しています。

高等学としての、二学年からスタートしました。創立当初の本校は、規模な学校ではあるがゆえに、経営面では幾多の困難に遭遇しました。しかしながら生徒諸君の向学心と保護者の皆様のご協力、そして教員の献身的な指導を原動力に進学実績を積み重ね、県内随一の進学校としての評価を不動のものとしてしました。そして、本日、入学式を行って、本日、入学式が完了し、大きく、設備も充実したものに変わりました。今年三月に建替え工事が完了し、大きく、設備も充実したものに変わりました。

卒業生が県内はもとよろ、全国の第一線で活躍されています。本校の歴史は、昭和三十九年(一九七四年)の系教育に主眼をおいた。戦禍を被った沖縄県の復興に際し、県民の方々の大きな希望をかなえるべく、「教育を通じて人材を育成する」との建学の精神のもと、昭和四十九年(一九七四年)の系教育に主眼をおいた。史と伝統に誇りを抱き、中学校とその後続く高校生活に夢と希望をもって臨んでほしいと期待します。

その後の六年間、大いに学び、青春を謳歌して下さる。そして、これからの中学・高校生活で様々な経験を積み、六年後には青い東シナ海を望む。この学び舎から、国を向けて羽ばたいて行って欲しいと思います。最後に新しいスタートラインに立たれた皆さんの学校生活が充実した日々であり、お祝いの言葉と致します。

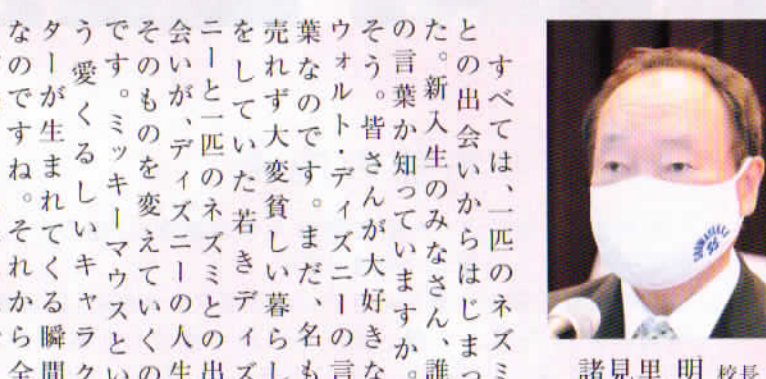


諸見里明 校長

本日は、ここに多数の保護者の皆様をお迎えし、昭和三十九年(一九七四年)の入学式を挙行するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。新入生の皆さん、見守り、難関を突破されたこと、入学おめでとう。また、ご臨席の保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。皆様のお喜びもひとしおかと、心よりお祝い申し上げます。本日の入学式は我々、本校関係者にとりましても皆様と同様にこの上ない喜びでございます。この記念すべき出会いを機に、本校の歴史について簡単に紹介したいと思います。

本校の設立母体は校名にある通り、東京都町田市にある学校法人昭和三十九年(一九七四年)の系教育に主眼をおいた。戦禍を被った沖縄県の復興に際し、県民の方々の大きな希望をかなえるべく、「教育を通じて人材を育成する」との建学の精神のもと、昭和四十九年(一九七四年)の系教育に主眼をおいた。史と伝統に誇りを抱き、中学校とその後続く高校生活に夢と希望をもって臨んでほしいと期待します。

自分が高めることができず、本日から新しい友達、先生方・先輩たち、学校という全ての出会いが始まります。本校において夢と希望のあふれる新しい出会いを期待しておられます。結びになります。コロナ禍の中で保護者一人のみの参加となつてしまっているおられます。ご多忙の中、ご臨席いただき、新生を激励ください。深く感謝を申し上げます。と、ともに、新入生の皆さんを祈念申し上げます。



諸見里明 校長

入学式の風景

厳しい試験を
勝ち抜いた
精鋭の皆さん、

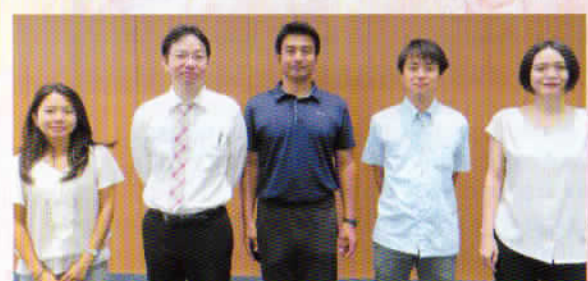




中学1年 担任団	
左から	
A組担任	尾本 明弘
B組担任	金城 貴子
C組担任	新田 伸
D組担任	坂本 翔作
E組担任	斎藤 真樹



中学2年 担任団	
左から	
A組担任	大嶺 梓
B組担任	山田 佑
C組担任	仲村 俊哉
D組担任	石川 清正
E組担任	城間 枝里



中学3年 担任団	
左から	
A組担任	安座間弓子
B組担任	大城 智史
C組担任	友利 浩介
D組担任	座安 浩史
E組担任	金城 愛恵

薬科生を導く担任をぜひ紹介!



高校1年 担任団	
左から	
A組担任	式田 仁
B組担任	松本さおり
C組担任	棚原 正哉
D組担任	山鹿 望
E組担任	安田 真也



高校2年 担任団	
左から	
A組担任	福里 将平
B組担任	岩谷 正之
C組担任	奥平 芳樹
D組担任	池田真太郎
E組担任	赤峯真樹子



高校3年 担任団	
左から	
A組担任	大城 将司
B組担任	名嘉 辰記
C組担任	額田 基嗣
D組担任	座波 正和
E組担任	當眞こずえ

祝 認定式



令和三年・附属中学校卒業認定式・式辞

全ての生命がみなぎる、そんな春の良き日に、本校中学校三年生の皆さんが三年間の教育課程を滞りなく終了し、本日に卒業を認定されましたことを心からお喜び申し上げます。

只今、二百六名の卒業を認定し、高等学校への入学を許可いたしました。本校中学校の卒業並びに本校高等学校への新入学、本当におめでとございます。

本中学校は、顧みずと県下一円を担う中高一貫校として一九八六年一月二十日に発足しました。本日まで私を含めて七代を数える校長と十四代に渡るPTA会長を先頭に教職員・保護者、地域の方々の御指導・御尽力により県内随一の進学校として、また常に品格あるリーディングスクールとして活躍してまいりました。「専一集注」「堅忍不拔」の校訓が示すように、自分のやるべき事にこだわりを持って専念するとともに岩をも砕く信念を貫き、常に学び続ける喜びを保持して欲しいと願います。このような素晴らしい校訓の元で培われてきた本校の輝かしい伝統と校風をこれからも揺るぎなく継承して欲しいと願います。

附属中学校は今年で創立三十五周年目に入ります。素晴らしい新校舎も完成し、新体育館も後は外回りの工事を残すのみで体育館本体はすでに完成いたしました。新校舎に新体育館という素晴らしい教育環境が整備されていくことに本校校長として万感の思い一杯です。どうか、中学校を卒業し、高等学校に進学する皆さんには、これまで先輩たちが営々と築いてきた歴史と伝統に誇りを持ち、薬科附属学校の生徒としての気概を新しい学年においても引き継いでほしいと期待いたします。

決意の言葉

今年度中学生徒会長を務めた新垣辰拡です。

まずはじめに、卒業生の代表としてこの場にいることを大変うれしく思います。私達卒業生は、この昭和薬科大学附属中学校に入學して三年の月日が経ちました。最初は右も左もわからない中、すぐに慣れることができたのは先生方、先輩方そして様々な学校行事を通して団結力を高め、日々の学校生活を共に過ごしてきた同級生たちのおかげです。私はこの同級生たちと学べたことを、そしてこれからの高校生活をともに学べることを誇りに思います。

来月から始まる高校生活、もちろん不安があります。中学と比べて難易度も上がり、科目数も増えて、さらに勉学に励まなければならぬでしょう。それでもお互いに切磋琢磨し充実した高校生活を送れるよう、そして志望校に合格し、夢が実現できるように努力していきたいと思っております。なので、先生方、先輩方どうか私たちをこれからも温かく見守っていてください。

中学生徒会長 新垣 辰拡

歓迎の言葉

中学三年生の皆さんへ卒業おめでとうございます。そして、高校へようこそ。

私も二年前、皆さんと同じようにこの認定式に参加していました。高校生活は周りの環境や友人が変化するわけではありませんが、中学生活以上に刺激があり、夢があるものだと思います。

皆さんの中には、「二年前の私と同じように、「三年間あっという間に過ぎ去ったな」と思っている人も多いのではないのでしょうか。それでも、何気なく過ごしていた中学校生活も、今振り返ってみると、多くの思い出を築けた充実した日々だったと思います。

皆さんがこれから進学する高校での生活はもっと早く、密度の濃い日々です。あっという間に修学旅行の時期が訪れ進級し、勉強に集中しているうちに、私も気づけば高校三年生になるつもりです。

高校生になると、計画的に主体性を持って日々過ごすことが、高校生活の明暗を分けるといっても過言ではありません。大学受験などの目標設定を明確に立て、それから、学期毎、月毎、日々の計画を立てて行動することが非常に大切です。勉強面では文理選択や選択科目、進路決定などを、計画をもとに自己決定する一方、その選択の結果は自分で責任を持たなければなりません。生活面では、より多くの校外プログラムや課外活動の場があります。その中で活動の意義を見出し、今までの自分での発言や行動により責任を持たなければなりません。不安に思う必要はありません。将来の計画を立てる中で、一人で悩んだり、責任を感じて一人悩みを背負ってしまったら、同級生や部活動の仲間、先輩や家族、そして先生方に何でも相談してください。周りの人はきっと皆さんを支えてくれます。そして、安心して進学してきてください。そして、皆さんも、周りの同級

受賞者

校長特別賞・成田 未希

受賞理由…三年間を通しての成績が優秀であり、かつ人物・活動ともに高く評価されている。第五十七回全沖縄青少年読書感想文・感想画コンクールで最優秀賞を受賞し、同作品は「特別賞」を受賞した。学業面においても常に三十位以内におり、成績面でも申し分なく謙虚な姿勢で人物像も好ましい。書道が趣味でコンクールでも多々入選している。

日本私立中高連合会賞… 大城 航

受賞理由…中学一年次に夏休みの理科自由研究課題「止水域におけるトロンボの生息条件」で第五十八回沖縄県児童・生徒科学賞作品展で最優秀賞を受賞し、第六十二回日本学生科学賞(中央最終審査に進出し、全国ベスト二十)に選出された。また同研究は第四十一回沖縄県青少年科学作品展において沖縄県知事賞を受賞した。

三カ年皆勤賞(三十四名)

A組(八名)
新垣 万葉、新崎野乃華、伊田彩乃、江尻 和佳、菊田 尚宏、城間 嘉人、照屋 唯皓、与儀 陽希

B組(六名)
新城 璃空、沖山 理帆、栗田 夏帆、



決意の言葉を述べる新垣辰拡さん



日本私立中高賞受賞の大城航さん



校長特別賞の成田未希さん

古謝安美南、成田未希、比嘉こころ
C組(六名)
安里公貴、内間 桜雅、玉城 日華梨、中川 柊真、中村 倫雅、花城 沙也佳
D組(十名)
池原歩花、糸数 はるか、稲嶺 秀多、下地 実麻、兼島 一 道、佐野 ひなた、大地 栞央、玉城 明加莉、比嘉 真歩、又吉 愛羽、
E組(四名)
石井 瑠佳、糸数 莉子、津森 歌鈴、眞境名 妃彩

教育実習生の声



仲井間 玲奈 武富 遥 眞喜志 康智 中原 桂村 大嶺 真之介 喜屋武 盛敦

大嶺 真之介

金沢大学4年の大嶺真之介です。この度は数学の教育実習生としてお邪魔させてもらっています。2週間という短い期間ですが、最初の1週間を通して多くの先生の授業見学で学んだ事を活かして、残りの1週間ではより生徒に伝わる授業ができるように励みたいと思います。

中原 桂村

こんにちは！琉球大学理学部4年の中原桂村です！生徒の皆さん、昭和薬科で過ごす6年間は、長いようであっという間です！後悔の無いよう、勉強も遊びも一生懸命に、今しかない青春時代を目一杯楽しんでください！

喜屋武 盛敦

信州大学4年の喜屋武盛敦です。この度は高校1年生物基礎の教育実習生としてお世話になっています。日々学ぶことが多くとても充実しています。3週間という短い期間ですが、生徒の気持ちを一番に考えて楽しく、わかりやすい授業が出来るように頑張りたいです。

武富 遥

こんにちは。琉球大学から来ました、武富遥です。中学二年生の生徒さんと一緒に、毎日英語の授業に励んでいます。授業作りは大変ですが、みなさんとのやりとりはとても楽しく、充実した実習の日々を送っています。

眞喜志 康智

こんにちは。琉大国際地域創造学部4年生の眞喜志康智です。現在は英語について勉強中で、以前はフランス文学を専攻していました。大人になっても勉強するのは楽しい、ということを実習を通して生徒たちに伝えられればと思います。塾で働いて培ったスキルを使って、一生懸命授業します！よろしくお願いします。

仲井間 玲奈

3週間、高校1年生の英語コミュニケーションを担当させていただきます。受け入れて下さる感謝とともに、生徒のみなさんと学んでいきたいです。よろしくお願いいたします。

「広報部より」：教育実習生は事前にPCR検査陰性判定を受けていて、2週間前から体調を整え毎日検温・体調観察シートへ記載等して新型コロナウイルス感染拡大防止を図っています。

学校オリジナルTシャツ再販売！

昨年度、高校生徒会では学校オリジナルTシャツの販売を行いました。今年度はりんどう祭も控えており、オリジナルTシャツが気運向上の一助になればと考えています。

そこで、新中学1年生や、昨年度の販売でご購入できなかった方、追加で購入を考えている方に向けて再度、注文販売を行いました。(注)販売は終了しています。



令和3年度 生徒会役員紹介！

コロナ禍でも諦めず 対応・工夫して活動します！！

高校生徒会



こんにちは、令和3年度高校生徒会会長の喜友名孝明です。今年度は昨年度に引き続きコロナ禍の学校生活となってしまいましたが、感染対策をしっかり行いつつ、生徒会一同、学校生活を盛り上げていきたいと思っています。

さて、今年度の生徒会活動は「不撓不屈」を方針に掲げ、企画立案の際に発生するコロナによる弊害の中でも、諦めずに対応策を考え、最善の結果を模索していきます。

具体的な活動内容としては、教師と生徒が直接意見交換をし、より生徒を主体とした学校を目指す「評議会」の開催、リサイクル運動への参加、ボランティア活動、学校オリジナルTシャツの販売等を予定しています。また、コロナの感染状況を見ながらではありますが、積極的に他校との交流を図りたいと考えています。これにより、生徒が今まで学んだことを実践できるような場を整え、楽しみながらも社会でも能力を活かせるよう促します。

最後になりますが、今年度はりんどう祭が予定されています。学校一丸となって最高のりんどう祭を目指しますので、応援お願いします。ならびに、令和3年度高校生徒会をよろしく申し上げます。

後列	顧問 安藤 航洋	書記 仲地 春陽	書記 佐久本 怜	書記 林 舞玲	書記 島袋 紗菜	書記 中村 唯梨乃	書記 又吉 洸瑠
前列		会計 田島 佑真	副会長 上地 怜奈	会長 喜友名 孝明	副会長 仲地 姫乃	会計 高野 琉海	

中学生徒会



この度、昭和薬科大学附属中学校の生徒会長になりました、知念夢乃です。私達中学生徒会執行部は、方針として「コロナ禍でも生徒が充実した学校生活を送る」ことを掲げています。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で様々な制約があり、学校行事も制限されます。その中でも、工夫をこらして充実したものにしていきます。例えば6月にある球技大会では、大きな声での応援が出来ない代わりに音楽をかけて場を盛りあげたりと、新型コロナウイルスに対応した行事運営を行っています。

中学生徒会執行部一同、「充実した学校生活」を目指して精進して参りますので、応援よろしく申し上げます！

後列	顧問 大森 博文	庶務 眞境名 兼路	会計 佐次田 ひろ志	書記 宇座 真奈美	書記 佐渡山 花奈	会計 宮里 京花	
前列		書記 玉城 陽斗	庶務 平田 朋乃健	会長 知念 夢乃	副会長 比嘉 彩愛	副会長 竹下 紗希	

新PTA会長挨拶

初めまして、今年度PTA会長のご承認をいただきました知念武史です。1年間よろしくお願いたします。
実は、薬科に入って初めてPTA活動に関わるようになりました。りんどう祭にて炎天下の中駐車場係をしたり、夜間街頭指導に参加したり、バザーのお手伝いをしたり、校長、教頭先生との会議に緊張してみたり、大変なこともあります。子供達のためにとの思いで活動してきました。薬科生、勉強に部活動に塾にと本当によく頑張っていて感心しています。充実した学校生活になるようぜひ応援してあげたいです。
しかし、コロナの影響により例年通りの行事ができないことに皆様同様に心を痛めています。
現在、PTAとしてできることを模索して準備を行っています。子供達の頑張りに応えられるよう活動していきたいと思っておりますので、保護者の皆様にはこれからもご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。



会長 知念 武史

上原副会長 退任挨拶

息子の入学から今年娘の卒業まで生徒指導部員、副会長と9年間PTA活動をさせていただきました。

母校への恩返しとして始めたPTA活動でしたが、頼りになる会長、副会長、各部の皆様とご一緒できたことで、素晴らしい経験をさせていただきました。それまでPTA活動はさせられている感があり楽しいものではありませんでしたが、眞榮田会長がいつもおっしゃっているように、薬科で『親が楽しみながら学校に関わっていく』事が、子どもたちにもいい影響があったように感じています。先生方ともいろいろなお話をする事が出来たことも、とても勉強になりました。息子も娘も素晴らしい先生方と出会い、友達を作り、人生の中でもとても大切な6年間を楽しく過ごすことが出来ました。最後の一年に、コロナ禍でほとんど学校行事やPTA行事が出来ず残念でしたが、少しずつでもまた楽しい行事が再開できますよう、お祈りしています。PTAは卒業致しますが、今後も薬科卒業生、そして卒業生父母として引き続き母校を応援していきたいと思っております。

皆様とご一緒できたこと、心から感謝しています。ありがとうございました。



上原 桂子 眞榮田 明美

眞榮田会長 退任挨拶

沢山の皆さんとの出逢いに感謝のPTA活動でした。

“18年”と言うと「え～長い!!」と言われますが(もちろん長いですが)意外にもあっという間だったような気がします。様々な行事を通して子ども達の成長を間近で見られたり、私自身親として学んだり…講演会を企画する中、講師の先生との打ち合わせや送迎では講演会では聞けなかったお話を聞く事ができたのも、役員をしていて嬉しい出来事でした。

薬科生の活躍や頑張りや県内外のPTAの大会で紹介できたのもいい思い出です。

楽しかったPTA活動も、頼りない私を温かくフォローして下さった三役の皆さんや、専門部はじめ評議員の皆さん、そして先生方のおかげです。子どもがいたからこそできたPTA活動。楽しい時間を過ごすきっかけをくれた子ども達にも感謝です。

これからは、薬科生やPTAの皆さんのサポーターとして陰ながら応援させていただきますね。

長い間、本当にお世話になりました。

PTA新役員から挨拶

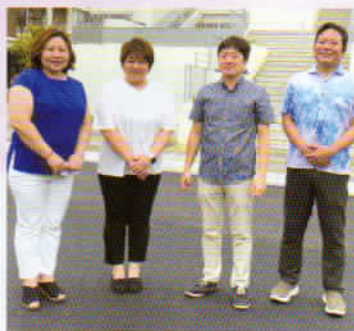
今年度、PTA会長、副会長にご承認いただきました知念武史、狩俣一郎、喜友名淳子、安里裕子です。1年間よろしくお願いたします。

昨年度は得体の知れないコロナ禍の中、PTA活動を模索しておりましたが、りんどう祭、PTAボーリング大会、PTA主催「講演会」「芸術鑑賞会」、PTAバザーなどPTA行事の中止が相次ぎました。

そんな中、PTA会報「竜胆」の発行、夜間街頭巡回指導、PTAバザー代替としての物販など皆様のご協力の下、できる限りのことに取り組んで参りました。

今年度もコロナが猛威を振るっていますが、落ち着くタイミングがあると思っておりますので、準備を進めていながら、開催可能な行事をしっかりとした感染対策をとりながら行ってきたいと思います。

子供達の学校生活の充実、保護者の皆様や先生方とのより良い連携を目標としてPTA活動に努めて参ります。皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします。



左から 喜友名・安里・知念・狩俣

PTAから「冷水機寄贈」

新第一体育館への完成記念として、令和元年度よりPTAバザー収益金を積立してきましたが、令和3年3月に待望の冷水機4台をPTAより寄贈いたしました。

みなさまのご協力に感謝いたします。



広報部より

次年度部員が卒業で多く抜けるため、写真撮影を始め、イベントを取材できる方を募集しています。学校まで連絡下さい。